

〈保証の適用除外〉

保証期間内でも次の場合、点検または取り替えは有料となります。

1. 点検の結果、警報器に異常が認められない場合。
2. 取扱説明書等の記載事項によらないで使用した場合の故障または損傷。
3. お買い上げ後、器具を調整・分解・改造された場合の故障または損傷。
4. お客様が取り付け付けた場合であって、取り付け位置が浴室・屋外・高温多湿等著しく不適当な場所、および取り付け基準に定める位置以外の場所で使用した場合。
5. お買い上げ後、取り付け位置の移動、落下等による故障または損傷。
6. 建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、筐体の色あせ等の経年変化、ご使用に伴う磨耗等により生じる外観上の現象。
7. 強い腐食性の空気環境に起因する不具合。
8. 犬、猫、ねずみ、くも、昆虫等の動物および植物に起因する故障または損傷。
9. 火災や落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異、または戦争、暴動等の破壊行為による故障または損傷。
10. 指定規格以外のガス・電気を使用したことによる故障または損傷。
11. 水や煮こぼれ等の液体による故障または損傷。
12. 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
13. 本保証書のご提示がない場合。
14. 本保証書にお取り付け日、販売店名の記入がない場合。

〈お客様へ〉

1. お取り付け後5年を過ぎたものは、新しい警報器とお取り替えください。
2. この保証書をお受け取りになるときに、お取り付け年月日、および販売店名が記入してあることを確認してください。
3. 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
4. この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
5. 保証期間内のアフターサービス（無料点検等）および安全点検活動のために、お客様の記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

販売店	取扱者

保証履行者
(発売元)
および
保証責任者
(製造元)

富士電機株式会社

住所 〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号
(ゲートシティ大崎イーストタワー)
電話 (03) 5435-7111

空気より軽い12A・13Aガス用

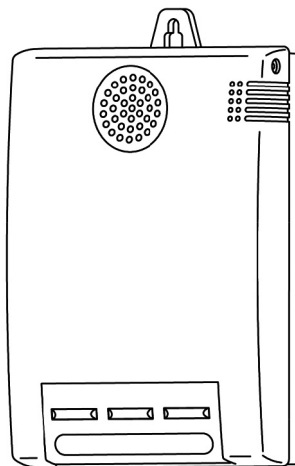
保証書付

一般財団法人日本ガス機器検査協会検査合格品

品名：KN-74
JGN1CWEG型

(家庭用・業務用兼用)
ガス・CO警報器

取扱説明書



●ガス・CO警報器(家庭用・業務用兼用)をお取り付けいただきありがとうございます。

●この取扱説明書はガス・CO警報器(家庭用・業務用兼用)の取り扱い方法を説明します。

●お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容をご理解した上で取り扱ってください。

●本取扱説明書は、取り付け後も保証書とともにお手元に保管し、いつでもごらんいただけるようにしておいてください。

●本書を紛失された場合、内容に不明な点があった場合は、お取り扱いのガス会社までお問い合わせください。

●本警報器は、ガスや一酸化炭素（以下COという）を感知して警報を発するものです。ガスもれや不完全燃焼の発生を未然に防止する装置ではなく、また、ガスもれや不完全燃焼による損害を防止することを保障するものではありません。ガスもれや不完全燃焼などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

●本警報器は、都市ガスやCOを感知して、警報を発するものです。ガス検知部にガスやCOが到達しない場合は、ガス警報機能やCO警報機能が働きません。

富士電機株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号
(ゲートシティ大崎イーストタワー)
電話 (03) 5435-7111

コールセンター 0120-24-9194

目 次

☐ 1. 警報器をご使用になる皆様へ	1
☐ 2. 対象ガス	1
☐ 3. 各部の名称と働き	2
☐ 4. 主な特徴	3
☐ 5. 安全上・使用上のご注意	4
☐ 6. 予備コンセントの使用法	6
☐ 7. 使用方法	7
☐ 8. 赤（ガス警報）ランプが点滅、または黄（CO警報）ランプが点滅している場合の処置	8
☐ 9. 「ウーウービッピッビッピッ ガスがもれていませんか」とガス警報を発している場合の処置（赤（ガス警報）ランプが点灯）	9
☐ 10. 「ウーウービッピッビッピッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と不完全燃焼警報を発している場合の処置（黄（CO警報）ランプが点滅または点灯）	11
☐ 11. ガス警報とCO警報を交互に発している場合の処置（赤（ガス警報）ランプ点灯と黄（CO警報）ランプが点滅または点灯）	13
☐ 12. 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた	15
☐ 13. ランプ表示・音声出力の表現している事象一覧表	16
☐ 14. 警報器を取り付けている部屋等で噴霧殺虫剤を使用されるときのお願い	18
☐ 15. 外部機器運動対応表	21
☐ 16. 警報器のお手入れ方法	22
☐ 17. 仕様	23
☐ 18. アフターサービス	24

施工される方および警報器をご使用になる皆様へ

☐ 19. 設置前のご注意	24
☐ 20. 取り付け位置の確認	25
☐ 21. 取り付け方法	27
☐ 22. 取り付け後の確認・点検	28
■ 外部機器と接続する場合の注意点および点検方法	30
■ 外部機器との運動点検方法	31
■ その他 確認ボタンの機能説明	31
■ お客様へのご説明内容	32
■ お客様への周知事項	32
■ 廃棄処理について	32

保証書

保 証 書

品名：KN-7 4

型式：JGN1CWEG

このたびは都市ガス・CO警報器（家庭用・業務用兼用）をお取り付けいただきありがとうございます。

この保証書は、都市ガス供給区域内において、ガス会社が供給する都市ガス用として警報器をご使用になる場合、本保証書の記載内容にて、無料点検または無料取り替えを約束するものです。

－ 記 －

1. 保証期間は、お取り付け日から5年間とし、警報器本体を対象とします。警報器本体以外に生じた損害は、本保証書に定められた保証の対象ではございません。
2. 保証期間中万一故障した場合は、本保証書をご提示の上お求めの販売店、またはお取り扱いのガス会社にお申し出ください。
3. 取扱説明書に基づく正常な使用状態で誤作動等の異常が認められた場合は、お申し出に基づき無料にて出張の上、点検いたします。
4. 取扱説明書に基づく正常な使用状態で、製造上の責任による故障の場合は無料にて出張の上、取り替えいたします。
5. 保証期間内でも本書内（保証の適用除外）に記載してある事項の場合は、有料点検または有料取り替えとなります。
6. 無料取り替えなどアフターサービス等についてご不明の場合は、お求めの販売店またはお取り扱いのガス会社にお問い合わせください。

お取付日	年	月	日
------	---	---	---

ご使用者	ご芳名
	ご住所 〒 _____
	電話 (_____) _____

■お客様へのご説明内容

1. 警報点検結果の説明。
2. 取扱説明書を必ず読んでいただくことと、取扱説明書・保証書保管のお願い。
3. 取扱説明書に基づく主要機能の説明と確認。
 - (1) ガス警報の内容【赤（ガス警報）ランプ点灯、警報音声の確認】と警報時にとるべき措置の説明。
 - (2) CO警報の内容【黄（CO警報）ランプ点灯、警報音声の確認】と警報時にとるべき措置の説明。
 - (3) ガス・COの同時警報と警報時にとるべき措置の説明。
 - (4) 部屋にいない場合に警報が鳴ったときのとるべき措置について。
 - (5) 予備コンセントの容量上限値について。
 - (6) 誤報が発生する場合。

■お客様への周知事項

お願い	
●お客様に次の事項を説明の上、ご理解を得てください。 1. 保証期間が5年であること。 2. 警報器の有効期限を知らせること（本体に表示）。 3. 保証書を必ず読んで、内容を理解した上で取り扱うこと。 4. 警報器の移設禁止。移設依頼の連絡先。 5. 警報器の分解禁止。 6. 引越し時の措置。	❗ 必ず行う

■廃棄処理について

お願い	
●有効期限を経過して交換した警報器の廃棄処理について。 ・一般廃棄物として処理しないで、産業廃棄物として処理してください。 ・一般廃棄物として処理した場合、有害ガスが発生する恐れのある材料が本品には含まれていません。 ・決められた処理ルートがある場合は、それに従ってください。	

□ 1. 警報器をご使用になる皆様へ

警報器を正しくお使いいただくためや、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書にはいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
	一般的な禁止	
	火気禁止	
	触れるな	
	分解禁止	
	必ず行う	

□ 2. 対象ガス

注意	
●この警報器は都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス）および燃焼排ガス中のCO専用の警報器です。	
●都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス）供給区域以外では、お使いにならないでください。	

□ 3. 各部の名称と働き

- ①緑（電源）ランプ
- 電源を入れてから約1分間、緑ランプが点滅します。（警報器の安定時間）
 - 監視状態では緑ランプが点灯します。
- ②赤（ガス警報）ランプ
- ガスを検知すると赤ランプが点滅します。（ガス注意報）
 - ガスが規定濃度以上になると、赤ランプが点灯します。（ガス警報）
- ③黄（CO警報）ランプ
- 低濃度のCOを検知すると黄ランプが点滅します。（CO注意報）
 - 高濃度のCOを検知すると、黄ランプが点灯します。（CO警報）
- ④警報スピーカー
- ガス警報時には「ウーウービッピッピッ」が鳴ります。
 - CO警報時には「ウーウービッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」が鳴ります。
- ⑤ガス検知部（ガス・CO）

- ⑥確認ボタン
- 以下の確認等のときに使用します。
- 外部機器との連動確認
 - 本製品の有効期限切れの確認
 - ガス警報、CO警報、故障警報の停止

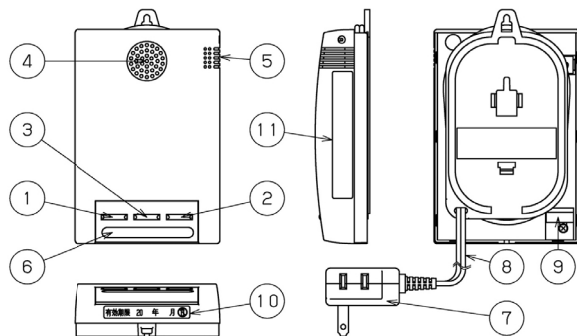
- ⑦電源プラグ
- 予備コンセントは最大1490W（AC100V、14.9A）までの電気器具1台のみに使用できます。

- ⑧電源コード
- 長さ2.5m
 - 約2.2mは背面に巻き取り可能。

- ⑨外部出力コネクタ封印シール
- 戸外ブザー等の外部機器に接続する時は、この封印シールをはがし、中のコネクタに接続します。

- ⑩有効期限表示ラベル

- ⑪JIA認証シール
- JIA認証、および製品型式、製造番号などを表示しています。



■外部機器との連動点検方法

確認ボタンを5秒間押すと、「ビッピ」の開始音が鳴り、緑（電源）ランプが点滅します。その後、確認ボタンから手をはなすと、外部出力信号（12Vと18Vの交互出力）が1分間出力されます。

連動点検中の警報器は、下表の動作を行います。

動作順	音声発報	ランプ表示			外部出力 (12V/18V)
		緑	黄	赤	
1	ウーウービッピッピッ ガスがもれていませんか	◎	○	●	ON
2	ウーウービッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	◎	●	○	ON
3	無音	◎	●	●	ON

●:点灯 ◎:点滅 ○:消灯

約1分後に終了音「ビー」が鳴り、監視状態に戻ります。

※上記動作は連動点検用で、警報時の動作と異なります。

※1分以内に連動点検を終えたい場合は、上記動作中に確認ボタンを押すと、「ビー」と鳴り本機能を終了します。

■その他 確認ボタンの機能説明

○有効期限切れ確認機能

警報器の有効期限が切れているときに確認ボタンを押すと「有効期限が切れています 販売店に連絡してください」と警報器の有効期限切れであることを音声でお知らせします。

※警報器の有効期限が切れている場合は、販売店またはお取り扱いのガス会社までご連絡ください。

○ガス警報停止機能

ガス警報時（赤ランプが点灯し、「ウーウービッピッピッ」 ガスがもれていませんか」と警報を発しているとき）に確認ボタンを押すと、警報音と外部出力を1回だけ停止できます。

警報器周囲のガスが一定濃度以下にならない場合は、5分後に再びガス警報を発します。

○CO警報停止機能

CO低濃度警報時（黄ランプが点滅し、「ウーウービッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と警報を発しているとき）に確認ボタンを押すと、警報音と外部出力を1回だけ停止できます。

警報器周囲のCOが一定濃度以下にならない場合は、5分後に再びCO警報を発します。

また、CO警報停止中にCO高濃度警報状態になった場合も、再びCO警報を発します。

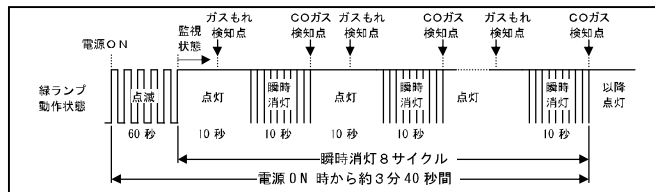
○故障警報停止機能

故障警報時に確認ボタンを押すと、故障警報（音声と外部出力0V）を36時間停止します。

※警報器が故障している場合は、販売店またはお取り扱いのガス会社までご連絡ください。

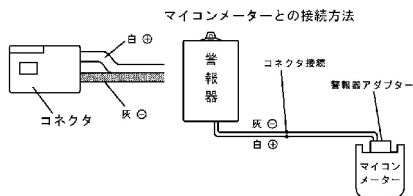
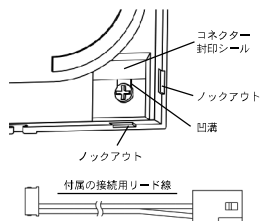
<COガス点検お知らせ機能>

点検時の点検ガス注入タイミングを20秒に10回の瞬時消灯でお知らせします。



■外部機器と接続する場合の注意点および点検方法

- 外部機器と接続する場合は、外部機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づいて作動点検を実施してください。
- 外部機器と接続する場合
コネクタ封印シールを外してください。凹溝部分にマイナスドライバーなどを差し込んでがすと外しやすいです。
※コネクタを傷つけないよう注意してください。
- 付属の接続用リード線を本体のコネクタに差し込んでください。
必要に応じノックアウト部をニッパーなどを使用して切り取り、接続用リード線を引き出してください。
- 警報器の外部出力（コネクタ）は有電圧出力ですので、外部機器と接続する場合は極性に注意してください。
- 集中監視盤または住宅情報盤と接続する場合、CO警報時でも集中監視盤または住宅情報盤はガス警報を発する場合があります。



□ 4. 主な特徴

	ガス注意報（低濃度）	ガス警報（高濃度）
●ガスがもれた場合 警報器周囲のガス濃度が規定濃度以上になると、低濃度のときは注意報、高濃度のときは警報します。	赤ランプの点滅	赤ランプの点灯と警報音声 「ウーウービッビッビッ」 ガスがもれていませんか」
●ガス機器の不完全燃焼によるCOが発生した場合 警報器周囲のCO濃度が規定濃度以上になると、低濃度のときは注意報、高濃度のときは警報します。	CO注意報（低濃度） 黄ランプの点滅 黄ランプの点滅が5分以上継続した場合、警報音が鳴ります。	黄ランプの点滅とCO警報音声 「ウーウービッビッビッ」 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」
	CO警報（高濃度） 黄ランプの点灯とCO警報音声 「ウーウービッビッビッ」 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	
●都市ガスがもれて同時にガス機器の不完全燃焼によるCOが発生した場合	赤ランプ点灯および黄ランプ点滅（または点灯）と交互に警報音声 「ウーウービッビッビッ」 ガスがもれていませんか」 「ウーウービッビッビッ」 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	

■ガス・CO警報運動機器との接続

- 戸外ブザーや集中監視盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、戸外ブザーは専用品（別売品）をご使用ください。
- マイコンメーターに接続しますと、警報を発してから30秒～60秒後自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。ただし、別売り部品（警報器アダプター）が必要になります。
- マイコンメーターに接続してご使用になる場合、マイコンメーターの取り替えが必要な場合があります。

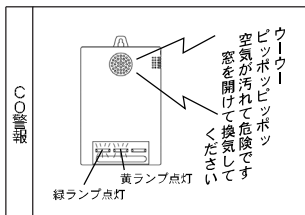
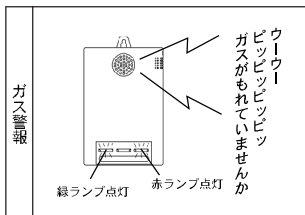
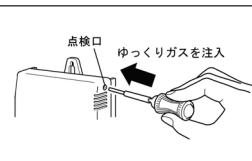
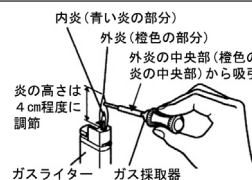
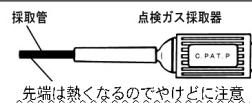
□ 5. 安全上・使用上のご注意

⚠ 警告

●警報器は絶対に分解改造しないでください。また、警報器を落下させたり衝撃を与えたりするような取り扱いはいしないでください。故障の原因になります。	⊘ 分解禁止	
●警報器の電源プラグは常に通電している専用コンセントに接続し、電源プラグを抜かないでください。通電していないと、ガスもれ、不完全燃焼が発生しても警報を発しません。	⊘ 禁止	
●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないよう根元まで確実に差し込んでください。ほこりの付着や不完全な接続は、感電や火災の原因になります。	⚠ 電源プラグは確実に	
●電源コードにはステッブルや釘等を打たないでください。火災の原因になります。	⊘ 禁止	

○ ガス警報とCO警報の同時点検

- (1) ガスライターを点火し、炎の高さを4cm程度に調整します。（炎が小さいとガスを採取しにくくなります）
- (2) 点検ガス採取器の容器部分を十分に圧縮して、採取管の先端を炎の外炎の中央部へ持っていきます。
- (3) 容器の圧縮をゆっくり（3秒程度）ゆるめ、炎の中からガス成分を吸引します。（長時間加熱すると、ガス採取器を破損する場合があります）
点検ガスの採取が終わりましたら、速やかに点検ガス採取器を炎から離し、ガスライターの炎を消してください。
- (4) 採取管の先端部の温度が下がるまで（約30秒程度）待ちます。
- (5) 警報器は、電源投入から約1分後に自動初期点検を行い（正常なら「正常です」と発報します）、その後、約3分間、20秒に10回の瞬時消灯を繰り返します。これは、COガス点検お知らせ機能で、この瞬時消灯を行っているときに採取ガスを注入してください。
- (6) 採取管の先端部分を警報器の点検口に軽く押し当てて、容器を圧縮し採取ガスをゆっくり（3秒程度）注入します。
- (7) 赤ランプが点灯し、ガス警報音「ウーウービッビッビッ」 ガスがもれていませんか」が鳴り、黄ランプが点灯し、CO警報音「ウーウービッボッビッ」 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」が鳴ります。
吹きかけのタイミングにより、ガス警報とCO警報の順序が逆になったり、交互になる場合があります。
- (8) ガスがなくなると、赤と黄ランプが消灯します。
※ガスセンサは、約20秒周期でガス検知とCOの検知を繰り返しています。各ガス検知タイミングは一定周期毎になっておりますので、ガスの注入タイミングがずれたり、あるいは注入したガスが薄まったりすると、警報までいたらない場合があります。
※点検ガスの注入から警報を発するまでに、時間差があります。連続して採取ガスをかけ続けると、警報器がなかなか鳴りやまない場合があります。
※アルコールを主成分とした点検ガスおよびライター式の点検ガス(生ガス)は、使用しないでください。
センサ異常またはセンサ故障の原因になったり、警報状態からの復帰に大変時間がかかることがあります。



⚠ 警告

採取したガスは作動点検以外には使用しないでください。



□22. 取り付け後の確認・点検

この警報器は、通電開始後の約1分間でセンサを含めた内部回路が正常であることを確認する機能を有しています。製造から取り付けまでが1年以内の警報器【J】A認証シール（警報器の側面に貼り付け）に記載の製造年月から取り付け年月までが1年後の同月まで以下の場合を満たす場合は、「2. 作動点検」は不要です。「1. 自動初期点検機能の確認」のみを行ってください。

ただし、お客さまから要望がある場合は、「2. 作動点検」を行ってください。

- ・新規取り付け時（未入居の新築住宅を含む）
- ・更新時

以下の場合、作動点検が必要です。「2. 作動点検」を行ってください。

- ・製造から取り付けまでが1年を超えた警報器

1. 自動初期点検機能の確認

電源プラグをコンセントに差し込みます。

緑（電源）ランプが点滅し、約1分後に全てのランプが同時点灯した後、正常であれば「正常です」と音声を発します。

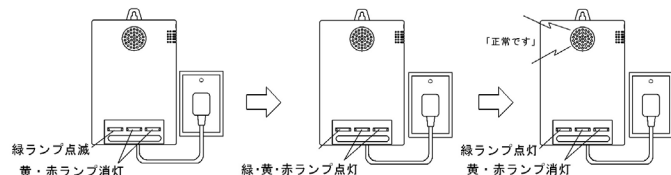
万一異常があれば、「故障です、販売店に連絡してください。」と音声を発しますので、この場合は警報器の交換をお願いします。

自動初期点検が終わると、緑ランプは点灯に変わります。

※緑ランプ点灯になってから約3分間、約20秒に10回の瞬時消灯を繰り返しますが、これは〇〇ガス点検お知らせ機能の表示であり、警報器の異常ではありません。

※赤（ガス警報）ランプが点滅することがありますが、しばらくすると消灯します。

※緑ランプが点滅している間は、作動点検は行わないでください。



2. 作動点検

この警報器は作動点検をスムーズに行うため、監視状態に移行後3分間（電源プラグをコンセントに差し込んでから4分間）に限り、採取ガスに対して反応しやすい状態が保持されます。必ずその間に作動点検を行ってください。

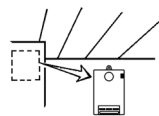
上記時間を過ぎると、点検用の採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されます。その場合は電源プラグを一度抜き、再度コンセントに差し込み直してから行ってください。

また、上記時間内であっても一度作動点検を行うと採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されますので、ご注意ください。

⚠ 注意

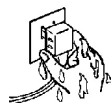
●警報器は取り付け位置を移動させないでください。また、警報器の前に物を置いたり取り付けたりしないでください。
警報遅れや誤報・故障の原因になります。
警報器の取り付け位置を変える必要がある場合は、お取り扱いのガス会社に依頼してください。

⊘ 移動禁止



●ぬれた手でプラグおよび予備コンセントに触らないでください。
感電する恐れがあります。

⊘ ぬれた手でさわらない



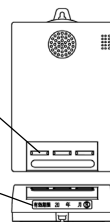
●日常、緑（電源）ランプが点灯していることをお確かめください。緑ランプが消灯している場合は次の表の内容をご確認ください。

●警報器の有効期限が過ぎていないか確認してください。警報器本体に有効期限表示ラベルが貼ってあります。有効期限はお取り付けから5年間までです。
期限を過ぎたものは規定のガス濃度で警報を発しないなど誤作動の恐れがあります。

❗ 確かめる

緑ランプ

有効期限表示ラベル



●この警報器は、お取り付けいただいた場所近くでのガスもれや〇〇発生には警報音声でお知らせしますが、他の部屋で発生したガスもれや〇〇には警報を発しないことがあります。

●浴室、屋外では使用できません。

●警報器の近くでラジオ等を使用されると、ラジオ等のノイズ（雑音）が増える場合があります。そのような場合は、警報器から離れてご使用ください。

※停電時は作動しません。また、はじめてお使いの場合や停電後は、電源を通じてから約1分間はガス警報機能・〇〇警報機能は作動しません。

※殺虫剤、化粧品等のスプレー類を警報器の近くで使用すると、警報音が鳴り出す場合がありますが、しばらくすると鳴り止みます。

※警報器は多少暖かくなりますが、異常ではありません（通電によりセンサ部を加熱して使用するため）。

原因	処置
・電源プラグのはずれ ・停電 ・電源ブレーカが切れている ・警報器の故障	・電源プラグを差し込む ・ブレーカを入れる ・販売店またはお取り扱いのガス会社に連絡する

※センサ故障等、警報器が故障診断の機能により故障と判断した場合、警報器は以下の動作を行います。この場合は、販売店またはお取り扱いのガス会社に連絡してください。

- ・電源ランプ（緑）：高速で点滅
- ・有電圧外部出力：0 V を出力
- ・警報音：「故障です 販売店に連絡してください」が鳴り、その後「ピピピピ」を1分毎に繰り返すし、「故障です 販売店に連絡してください」を10分毎に繰り返します。

上記動作中に確認ボタンを押すと、3.6時間、警報音と外部出力を停止することができます。
※お取り付け後、約5.5年経過すると、有効期限お知らせ機能により電源ランプ（緑）がゆっくり点滅します。この場合は、販売店またはお取り扱いのガス会社に連絡してください。

□ 6. 予備コンセントの使用方法

⚠ 注意

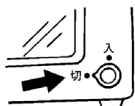
●警報器以外の電気製品を同時にご使用になる場合は、警報器の電源プラグは抜かず、警報器のプラグに付属している予備コンセント（アドオンプラグ）をご使用ください。
ただし、接続できる電気製品は、1490W（AC100V、14.9A）以下の電気製品1台だけです。1490Wを超えると火災発生の恐れがあります。

❗ 必ず守る



●警報器のプラグに付属している予備コンセント（アドオンプラグ）に接続するときは、接続する電気製品の電源スイッチを必ず「切（OFF）」にしてください。

❗ 確かめる

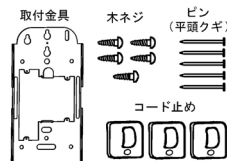


□ 21. 取り付け方法

お願い

1. 付属品の確認

付属品のイラストや写真、図などを用いて、付属品名、個数、用途などを確認してください。

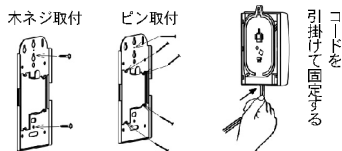


2. 取り付け位置の確認

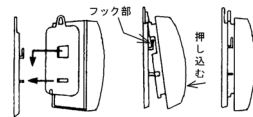
取り付け位置の壁面の材質、強度を確認し、土壁、強度の弱い合板などには取り付けないでください。

3. 警報器の取り付け

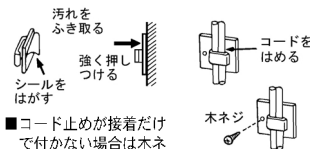
- (1)取付金具を、木ネジまたはピン（平頭クギ）で壁面に取り付けてください。
・壁がコンクリートの場合は、カールプラグを打ち込んで木ネジを使用してください。
・信号線をいんべい配線する場合には、1個用スイッチボックス(JS C 8340)を使用してください。警報器の取付金具は、スイッチボックスに直接取り付けすることができます。



- (2)電源コードをコンセントまでの長さに合わせて取り出し、本体裏側のコード掛けで固定してください。
- (3)取付金具のフック部に、本体裏面にある引掛け穴を使って掛け下げし、取付金具の下部にある固定凸部に、警報器本体を押し付けて固定します。



■電源コードは付属のコード止めで壁面に固定してください。

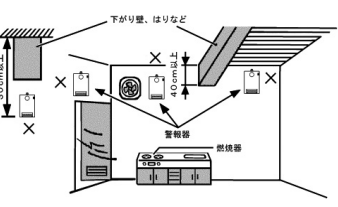
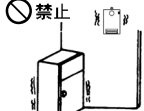


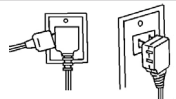
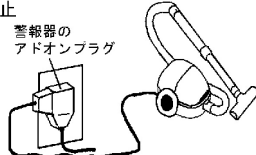
※警報器の取り付け時には、警報器を落とさないように注意してください。センサの断線等で正常に作動しない恐れがあります。
※警報器が電源コードに引っ張られて傾くような場合は、付属のコード止めで警報器のすぐ下を止め、一旦コードを真下に引き出してください。

※コード止めが接着だけでは弱い場合、付属の木ネジ（10mm）を使用してください。
※電源コードの固定に、市販のステップルや釘、ピンなどを使用しないでください。

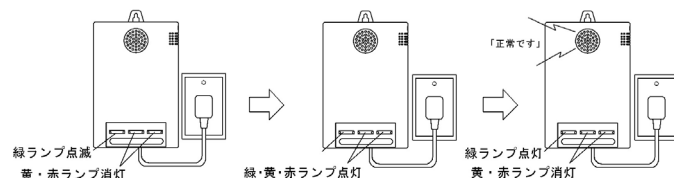
■電気設備技術基準および内線規定により、電源コードはステップルや釘などで固定できません。



⚠ 注意 次のような取り付け方をされていますと、警報遅れや誤報、故障などの原因になることがあります。 ●換気扇、吸気口、ドア付近など風通しのよいところ、すき間風の入るところ ●3.0cm以上(警報器台)の下がり壁などの下 ●6.0cm以上の下がり壁で区切られているところ ●エアコン等の吹き出し口の近く ⊘ 禁止 警報が遅れたり検知できないことがあります。	
●燃焼器具などの排気、湯気、油煙など、または調理用アルコールが直接かかる場所 ⊘ 禁止 センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。 	●使用時しか電源を入れないところ(ビルなどの給湯室で夜間電源を切るところ) ⊘ 禁止 警報器としての機能を果たしません。 
●カーテン等で仕切られているところ ⊘ 禁止 警報が遅れます。 	●振動、衝撃の激しいところ ⊘ 禁止 センサ故障の原因になります。 
●浴室内や水のかかる場所や水滴のつくところ ⊘ 禁止 感電や電気的故障の原因になります。 	●温度が0℃～+5.0℃の範囲をこえるところ ⊘ 禁止 警報器としての機能を果たしません。誤作動の原因になります。 
●屋外 ⊘ 禁止 屋外用ではありません。	●工業用 ⊘ 禁止 家庭用・業務用兼用です。

⚠ 注意 ●警報器のプラグ、他の電気製品のプラグは確実に接続してください。プラグがコンセントに確実に接続されていないと、プラグ部分が過熱し、焼損する場合があります。	⊘ 禁止 
●警報器のプラグに付属している予備コンセント(アドオンプラグ)に接続するときは、警報器のプラグに大きな力がかからないようにしてください。プラグ部分が外力により破損する場合があります。例えば、掃除機等の移動して使用する電気製品を接続することや、頻繁に抜き差しをすることは、おやめください。	⊘ 禁止 警報器のアドオンプラグ 

□ 7. 使用方法



- ①警報器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。
緑ランプが点滅します(1秒に2回)。この点滅は、警報器が作動状態に入る準備時間であることを示しています。
 - ②約1分間お待ちください。
約1分間、緑ランプの点滅が続きます。
この間にガスがかかっても本体は作動しません(停電復帰時と同様です)。
 - ③約1分後に緑ランプが点灯し、監視状態にはいります。
このとき警報器の自動初期点検機能が働き、警報器に異常が無ければ「正常です」と音声でお知らせします。(異常時は故障警報を発します。)
- ※過去(約10日以内)に警報動作した場合、電源を入れてから1分後のランプ全点灯の後、最後に発した警報に対応するランプが約1秒間点灯します。これは、鳴動原因表示機能によるものです。
- ※緑ランプが点灯になってから、約3分間、約2.0秒に10回瞬時消灯を繰り返しますが、これはCOガス点検お知らせ機能の表示であり、警報器の異常ではありません。

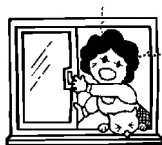
□ 8. 赤（ガス警報）ランプが点滅、または 黄（CO警報）ランプが点滅している場合の処置

- 赤ランプが点滅し、警報音声が出ていない場合は、ガス注意報です。
- 黄ランプが点滅し、警報音声が出ていない場合は、CO注意報（音声遅延中）です。

●次の処置をしてください。

ドアや窓を開けて換気をしてください。

❗ 開ける



室内の空気がよごれた場合にも、赤ランプまたは黄ランプが点滅または点灯する場合があります。その場合は、「□12. 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた」をご参照ください。

※外部機器と連動している場合、警報器が以下の状態のときは外部機器は連動動作しません。

- ・ガス注意報
- ・CO注意報（音声遅延中）

※COガス点検お知らせ機能の表示：電源投入から60秒経過後、約3分間、20秒に10回緑ランプが瞬時消灯します。

※故障表示：機器故障の場合、緑ランプの点滅でお知らせします。ただし、電源投入から60秒間の点滅は故障表示ではありません（「□22. 取り付け後の確認・点検」をご参照ください）。
電源回路、センサ回路、メモリ回路等が故障した場合、緑ランプが1秒間に4回点滅し、0Vの有電圧の出力で故障をお知らせします。故障表示は電源を再投入しても解除されません。

□20. 取り付け位置の確認

●取り付け位置を決めるときは、次のことをよく確認してください。



注意

1. ガスもれ、不完全燃焼を検知しようとするガス機器等を設置している場所と同一の室内に設置すること。

❗ 必ず行う

2. もれたガスや不完全燃焼ガスが滞留しやすい位置で、電源ランプが確認しやすく、容易に点検できる位置に取り付けること。

❗ 必ず行う

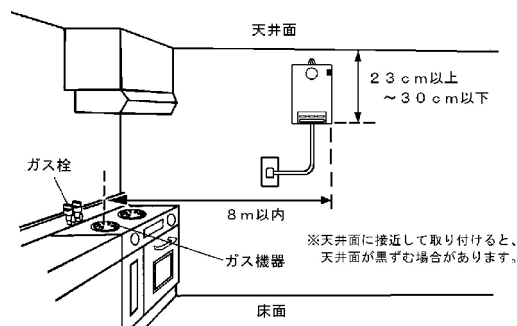
3. ガスもれ、不完全燃焼を検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用するガス機器の場合は、ガス栓）から、水平距離で8m以内、警報器の底面から天井面までの距離が30cm以内になるように取り付けること。

❗ 必ず行う

4. アルコール等で警報することがあるので、レンジフード内やレンジフード本体には取り付けしないこと。

🚫 禁止

取付例



※天井面に接近して取り付けると、天井面が黒ずむ場合があります。

※取り付けおよび取り付け位置の移動は、販売店またはガス会社におまかせください。

□ 18. アフターサービス

お願い

- この警報器は、ご使用開始後5年間の無償保証付です。
この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で警報器が正しく動作しないことが判明した場合には、無償でお取り替えいたします。
ただし、保証書裏面記載の保証の適用除外に該当する場合はこの限りではありません。
- この警報器の有効期限はお取り付けの5年後です。
有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過したものは、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがあるので、新しい警報器とお取り替えください。
- 保証書に取り付け年月日および販売店名の記入のないものは無効になることがありますので、お取り付け時にご確認ください。
- 保証書は大切に保管してください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店またはお取り扱いのガス会社までご連絡ください。
- 警報器の有効期限が過ぎたときは、販売店またはお取り扱いのガス会社までご連絡ください。
- 作動点検をご希望の場合は、有償にて点検いたします。
- 引越しやお部屋の模様替えなどで警報器を移動される場合は、販売店またはお取り扱いのガス会社までご連絡ください。

施工される方および警報器をご使用になる皆様へ

■施工される方へのお願い

□ 19. 設置前のご注意

- 警報器を設置する前に、警報器の種類、型式等が指定を受けたものであることを確認するとともに、設置場所の選定についてはお客様とよく相談して決めてください。

■警報器の確認

⚠ 注意

1. 取り付ける警報器が、空気より軽い12A・13Aガス用（不完全燃焼警報機能付）であり、本体、電源コード等に異常のないことを確認する。 **❗ 必ず行う**
2. 警報器には、落下等の強い衝撃を与えないように、取り扱いには注意すること。

⚠ 警告

1. お客様にこの警報器を安全に正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。 **❗ 必ず行う**
2. 工事終了後に、取扱説明書に従って作動点検を行ってください。
なお、作動不良の場合は交換してください。また外部機器と接続する場合は、外部機器の取扱説明書、設置工事説明書に基づいて作動点検をしてください。 **❗ 必ず行う**

□ 9. 「ウーウーピッピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」とガス警報を発している場合の処置（赤（ガス警報）ランプが点灯）

■部屋にいた場合で警報音が鳴り始めたとき

⚠ 危険

火花などによる爆発の恐れがあります。
警報音声が続いている間は、次のことは絶対にしないでください。

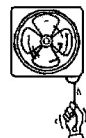
マッチやライターなど、火気は使用しないでください。

❌ 火気禁止



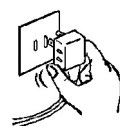
換気扇、電灯、蛍光灯、その他の電気製品のスイッチを入れたり切ったりしないでください。

❌ 禁止



警報器のプラグをコンセントから抜かないでください。

❌ 禁止



●次の処置をしてください。

1. ドアや窓を開けて換気をしてください。

❗ 開ける



2. ガス栓、器具栓を閉めてください。

❗ 閉める



3. 警報が鳴り止まなければ、お取り扱いのガス会社ご連絡してください。

❗ 連絡する



4. ガスがなくなれば警報音声は自動的に止まりますので、ガス臭がないことを確認のうえ、ガスもれの原因を点検してください。
ガスもれの原因として、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴムの亀裂、ガス機器の着火ミスなどが考えられます。

❗ 調べる



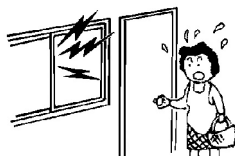
●たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器の点検を受けてください。

■部屋にいなかった場合で、室内で警報器が鳴っているのに気づいた場合

⚠ 危険 火花などによる爆発の恐れがあります。

●もれたガスの濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外から窓をあける、メーターガス栓を開めるなどとし、警報音が鳴り止んでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を開めるなどの処置をしてください。

⊘ すぐの入室禁止



●次の処置をしてください。

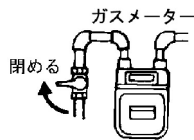
1. 部屋に入らず、室外からドアや窓をあけられる場合は、あけ放して換気をしてください。

❗ 外から開ける



2. ガスメーター近くのメーターガス栓を開めてください。

❗ 開める



メーターガス栓をあけるときは、お取り扱いのガス会社にご連絡ください。

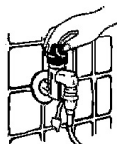
3. 警報音が鳴り止まない場合は、お取り扱いのガス会社にご連絡してください。

❗ 連絡する



4. 警報音が鳴り止んでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を開めるなどの処置をしてください。

❗ 開める



※外部機器と連動している場合は、「□15. 外部機器連動対応表」をご参照ください。

■もれたガスがなくなった場合

- ガスがなくなると、警報音が鳴り止み、赤ランプが消灯します。
- 警報器に戸外ブザーが接続されている場合は、戸外ブザーも同時に鳴り止みます。

□17. 仕様

項目	仕様	
対象ガス	都市ガス (空気より軽い12A・13Aガス用)	不完全燃焼排気ガス中のCO
警報ガス濃度	ガス注意報	CO注意報
	爆発下限界濃度*の約1/100	CO濃度300ppm以下
	ガス警報	CO警報
	爆発下限界濃度*の1/4以下	CO濃度550ppm以下
検知方式	半導体式	
警報方式	ガス注意報	CO注意報
	赤ランプ点滅 (自動復帰式)	黄ランプ点滅 約5分後危険と判断し 警報音声 (自動復帰式)
	ガス警報	CO警報
	赤ランプ点灯 警報音声 (自動復帰式)	黄ランプ点灯 警報音声 (自動復帰式)
応答時間	60秒以内	CO注意報 10分以内 CO警報 5分以内
外部出力	監視時DC6V	電源OFF時、故障診断時0V
	警報時DC12V	警報時DC18V
警報音量	70dB/m以上	
電源	AC100V±10V 50/60Hz	
消費電力	監視時 約0.5W	警報時 約1.2W
使用温度範囲	0℃～50℃ (結露しないこと)	
寸法・質量	125×85×32 約280g	
電源コード	長さ2.5m (約2.2mはケース背面に巻き取り可能)	
	予備コンセント付きプラグ 予備コンセントに接続できる電気製品は1490W (AC100V, 14.9A) 以下で1台のみ	
付属品	コード止め3個 ホネジ (呼び3.1×10mm) 5個 ピン (平頭釘) 5本 取付金具1個 (金具固定ピン付) 接続用リード線1個	

*爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界濃度といつて、最高濃度を爆発上限界濃度、最低濃度を爆発下限界濃度といいます。

※マイコンメーターと接続して使用する場合は、別売りの警報器アダプターが必要になります。

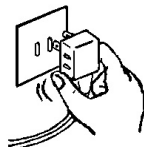
□16. 警報器のお手入れ方法

△ 注意

●警報器の表面および取り付け部付近の壁面が汚れたりしてお手入れをされる場合は、電源プラグをコンセントから抜き取ってください。
警報器の信号が外部機器（インターホン等の集中監視機器）と接続されている場合は、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器で警報（故障表示）が鳴る場合があります。



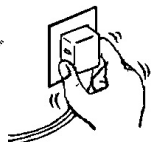
プラグを
抜く



●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、隙間のないように根元まで確実に差し込んでください。
ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。



電源プラグ
は確実に



お願い

●お手入れをされる場合は、布を水または石けん水に浸し、よく絞ってからよこれを拭き取ってください。



よく絞って
から拭く



水または石けん水



●お手入れのとき、警報器の内部に水が浸入しないように注意してください。



禁止



●警報器のお手入れには、中性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナーおよびアルコールは使わないでください。
中性洗剤等を使ったときは、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤ランプが点滅したり、警報音声が鳴りやまないことがあります。



禁止



□10. 「ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」とCO警報を発している場合の処置（黄（CO警報）ランプが点滅または点灯）

■部屋にいた場合で、警報音が鳴り始めたとき

△ 危険

CO中毒を起こす恐れがあります。

- 警報音が鳴り始めたら、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。
- 換気をせずにガス機器を使い続けると、CO濃度が上昇し短時間で生命に危険な状態になる恐れがあります。

●次の処置をしてください。

1. ドアや窓を開けて換気をしてください。



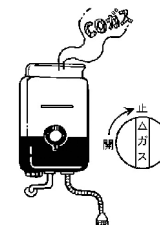
開ける



2. ガス機器の使用を止めてください。



止める



3. 警報音が鳴りやまない場合は、お取り扱いのガス会社にご連絡ください。



連絡する



- たびたび警報器が鳴る場合は、ガス機器の点検を受けてください。
- ガス機器以外の燃焼機器が原因で警報器が鳴る場合もありますので、これらの機器も点検を受けてください。

■部屋にいなかった場合で、室内で警報器が鳴っているのに気づいた場合

危険 CO中毒を起こす恐れがあります。

●CO濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアや窓をあける、メーターガス栓を閉めるなどをし、警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

⊘ すぐの入室禁止



●次の処置をしてください。

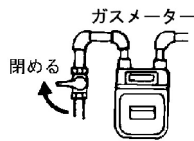
1. 部屋に入らず、室外からドアや窓をあけられる場合は、あけ放して換気をしてください。

❗ 外から開ける



2. ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

❗ 閉める



メーターガス栓をあけるときは、お取り扱いのガス会社にご連絡ください。

3. 警報音が鳴り止まない場合は、お取り扱いのガス会社に連絡してください。

❗ 連絡する



4. 警報音が鳴り止んでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

❗ 閉める



※外部機器と連動している場合は、「□15. 外部機器連動対応表」をご参照ください。

■不完全燃焼ガスがなくなった場合

●ガスがなくなると、警報音が鳴りやみ、黄ランプが消灯します。
●警報器に戸外ブザーが接続されている場合は、戸外ブザーも同時に鳴り止みます。

□15. 外部機器連動対応表

上段 ○：運動可能
×：運動不可能
△：警報器アダプターが必要

下段 警報器が鳴りはじめてから各機器が作動するまでの遅延時間です。
この遅延時間は、外部機器によって異なります。

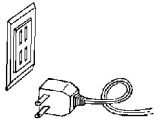
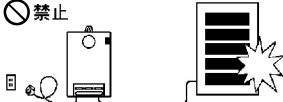
警報の種類		ガスもれ	不完全燃焼	備考
外部出力信号		DC12V	DC18V	
外部出力線		外部出力コネクタ		
外部機器	警報時の動作			
戸外ブザー	警報音が鳴ります	○	○	ガス・CO警報用
		約40秒		
マイコンメーター	ガスを止めます	△	△	
		約45秒		
住宅情報盤	警報表示と 警報音が鳴ります	○	○	
		即時		
集中監視盤	警報表示と 警報音が鳴ります	○	○	
		※1		

上記の外部機器との接続の場合には、ケーブルが必要になります。

※1 機器の設定により遅延時間が異なります。

【ご注意】

- 外部出力コネクタには極性がありますので、外部機器と接続する場合はご注意ください。
- 住宅情報盤および集中監視盤への接続は、各機器の取扱説明書と保証書に基づいて行ってください。
- 外部機器では、ガスとCO警報判別はできません。
(一部の住宅情報盤で判別できるものがあります)
- 遅延時間は一般的な値です。詳しくは各機器の取扱説明書でご確認ください。
- 外部機器は専用品をお使いください。(集中監視盤は除く)

△ 警告 ●噴霧が終わり換気をした後、忘れずにポリ袋を取り除いてください。	❗ 取り除く 
●電源プラグは抜かないでください。 ※警報器の電源を抜いてポリ袋で覆わずに、噴霧式殺虫剤を使用される部屋に噴霧中放置すると、噴霧が終わって電源を入れたときに、センサに吸着した噴霧ガスの影響で、警報器が鳴りだすことがあります。	⊘ 禁止 
●警報器の信号が外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続されていて、警報器の電源プラグを抜いた場合、外部機器で警報（故障表示）が鳴ることがあります。	⊘ 禁止 

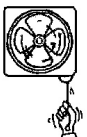
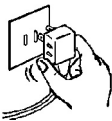
△ 注意 ●警報器の壁面からの取り外し、取り付け、あるいは、壁面の警報器へのポリ袋の取り付け、取り外しは、高いところでの作業となります。しっかりした踏み台などをお使いの上、転落、転倒、落下に十分注意して行ってください。	
●壁掛け型警報器は、強く引っ張ると取り付けられている木ねじが抜けたり、木ねじから警報器が外れたり、警報器の引っ掛け穴が破損するなどして、警報器が落下する恐れがあります。	

お願い

- 警報器への影響を少なくするため、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。また、警報器の真下での噴霧は避けてください。
- ポリ袋で覆っても、次のような場合は警報器が鳴る場合があります。念のため、事前に住宅管理者やご近所の方に殺虫剤の使用をご連絡しておいてください。
 - (1)ポリ袋と壁面の間に隙間がある場合。また、ポリ袋に破れや穴がある場合。
 - (2)部屋の広さに対して極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用された場合。
 - (3)警報器をポリ袋で覆う前に石油系溶剤、アルコール類などを使用されていた場合。
(ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められるため)
 - (4)経年変化によりガス検知部が敏感になっている場合。

□11. ガス警報とCO警報を交互に発している場合の処置 (赤(ガス警報)ランプ点灯と黄(CO警報)ランプが点滅または点灯)

■部屋にいた場合で、警報音が鳴り始めたとき

△ 危険 火花などによる爆発またはCO中毒を起こす恐れがあります。 警報音が鳴っている間は、次のことは絶対にしないでください。	マッチやライターなど、火気は使用しないでください。	換気扇、電灯、蛍光灯、その他の電気製品のスイッチを入れたり切ったりしないでください。	警報器のプラグをコンセントから抜かないでください。
⊘ 火気禁止 	⊘ 禁止 	⊘ 禁止 	

●次の処置をしてください。

1. ドアや窓を開けて換気をしてください。 ❗ 開ける 	2. ガス機器の使用を止めてください。 ガス栓、器具栓を閉めてください。 ❗ 閉める 
3. 警報が鳴り止まなければ、お取り扱いのガス会社にご連絡してください。 ❗ 連絡する 	4. ガスがなくなれば警報音は自動的に止まりますので、ガス臭がないことを確認のうえ、ガスもれの原因として、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴムの亀裂、ガス機器の着火ミスなどが考えられます。 ❗ 調べる 

●たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器の点検を受けてください。

■部屋にいなかった場合で、室内で警報器が鳴っているのに気づいた場合

危険 火花などによる爆発、またはCO中毒を起こす恐れがあります。

●もれたガスの濃度が濃くなっている場合、またはCO濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアや窓をあける、メーターガス栓を開めるなどをし、警報音が鳴り止んでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を開めるなどの処置をしてください。

⊘ すぐの入室禁止



2. 1の方法で処置できない場合は下記の手順で処置してください。

<用意していただくもの>

- ・ポリ袋 ポリプロピレン ( または >PP< 表示) が好ましいですが、ポリエチレンでも一定の効果があります。
大きさは、30cm×40cm程度が適当です。
- ・輪ゴム 3本
- ・粘着テープ (壁面の状況に応じた接着テープ)

- ①ポリ袋を輪ゴムで警報器のコード巻き取り部分で止めてください。輪ゴムは1本では弱いので3本程度使用し、しっかりとめてください。
 - ②ポリ袋と壁の間の隙間から噴射ガスが入るのを防ぐため、ポリ袋の端を接着テープで壁面に貼り付けてください。ただし、壁面等の状況により貼り付けできない場所の場合は、輪ゴムで止めておくだけでも一定の効果はあります。
- ・ポリ袋と壁面の間に隙間ができないようにテープで貼ってください。特にポリ袋がしわになっている部分や、電源コードが通っている部分を注意してふさいでください。
 - ・接着テープは壁面の状況に応じて、接着しやすく、またはがすときに壁面を傷めないテープをご使用ください。

●次の処置をしてください。

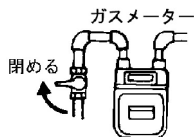
1. 部屋に入らず、室外からドアや窓をあけられる場合は、あけ放して換気をしてください。

❗ 外から開ける



2. ガスメーター近くのメーターガス栓を開めてください。

❗ 開める



メーターガス栓をあけるときは、お取り扱いのガス会社にご連絡ください。

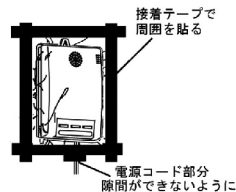
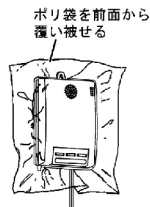
3. 警報音が鳴り止まない場合は、お取り扱いのガス会社にご連絡してください。

❗ 連絡する



4. 警報音が鳴り止んでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を開めるなどの処置をしてください。

❗ 開める



※外部機器と連動している場合は、「□15. 外部機器運動対応表」をご参照ください。

■ガスがなくなった場合

- ガスがなくなると、警報音が鳴り止み、赤ランプ、黄ランプが消灯します。
- 警報器に戸外ブザーが接続されている場合は、戸外ブザーも同時に鳴り止みます。

□14. 警報器を取り付けている部屋等で噴霧式殺虫剤を使用されるときのお願ひ

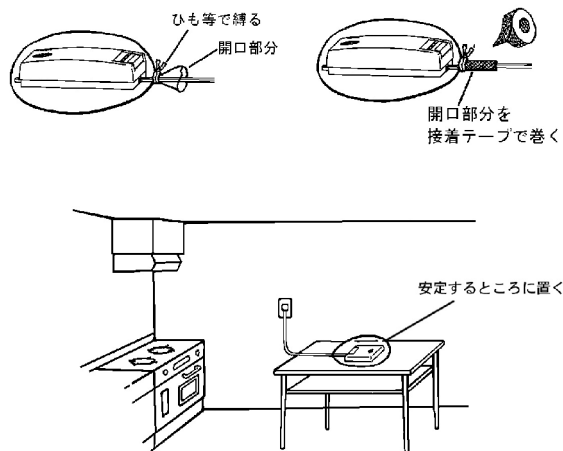
■噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報器が鳴る場合があります。次の処置を行っていただくと、警報器の鳴り出し防止に効果があります。

1. コードを巻き取り部から引き出して伸ばし、安定した場所における場合は、下記の手順で処置してください。

＜用意していただくもの＞

- ・ポリ袋 ポリプロピレン（ または >PP< 表示）が好ましいですが、ポリエチレンでも一定の効果があります。
- ・ヒモ
- ・粘着テープ

- ①壁から警報器を取り外し、コード止めから電源コードを外して伸ばしながら、安定する場所に警報器をおいてください。また、このとき、電源プラグは抜かないでください。
- ②警報器にポリ袋を1枚かぶせ、ポリ袋内に噴射ガスが入るのを防ぐため、電源コード部分で密閉できるようにひも等で縛ってください。ポリ袋の開口部分は、電源コードとの間に隙間ができないように、接着テープを巻いてください。
- ③ポリ袋を傷めないよう、安定するところに置いてください。



□12 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた

■ガスもれや不完全燃焼ガス以外の空気の汚れて、赤（ガス警報）ランプや黄（CO警報）ランプが点滅したり、警報音が鳴ったとき

●次の処置をしてください。	❗ 開ける	
ドアや窓を開けて換気をしてください。		

警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、ランプの点滅や警報音が止まります。

■警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

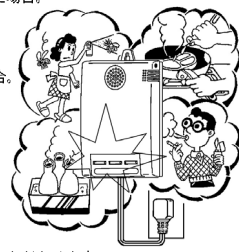
以下の原因が考えられますので、調べてください。

お願い

■ガスやCO以外にも、次のように空気がよごれた場合などに、赤・黄ランプが点滅または点灯したり警報器が鳴ったりする場合がありますが、すぐに鳴りやみますので警報器の電源プラグは抜かないでください。

- 確認ボタンを押したとき。
- スプレー式の殺虫剤、ヘアスプレーなどが直接警報器にかかった場合。
- 濃厚なタバコの煙を警報器にふきかけた場合。
- 芳香剤、香油（アロマオイル）等の濃いガスがかかった場合。
- 線香の濃い煙がかかった場合。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用した場合。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になった場合。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用したとき。
- 長期間部屋が閉められていた場合。
- 焼き魚の煙等がかかった場合。
- みりんや酢などの調味成分を含んだ蒸気が大量にかかった場合。
- 可燃性のガスを使用した場合。
- 警報器の電源電圧が、通常の電圧範囲外の場合。
通常の電圧範囲はAC100V $\pm$ 10Vです。
- 給湯器使用中、換気が十分でないとき。
- ガスコンロの着火ミスがあったとき。
- 自動車の排気ガスが室内にこもったとき。
- 炭火や練炭（くんたん）を使用したとき。
- 換気扇を回さずに大鍋（業務用）で湯を沸かしたとき。

点火初期時に一酸化炭素が発生し、不完全燃焼警報を発することがあります。



- 長い間閉められていた部屋や、高气密住宅などの換気回数が少ない部屋に設置されている場合、ガスセンサの感度に影響を及ぼす室内の滞留成分【シリコンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス（エアコンの冷媒ガスなど）】の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。
- 建材等から発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。

□ 13. ランプ表示・音声出力の表現している事象一覧表

ランプ			音声	表現している事象	記載頁
緑	黄	赤			
●	○	○	なし	通常動作（監視中）	－
●	○	◎	なし	ガス注意報	8
●	○	●	ガス警報音 「ウーウービッピッピッピッ ガスがもれていませんか」	ガス警報	9, 10
●	◎	○	なし	ＣＯ注意報（遅延中※1）	8
●	◎	○	ＣＯ警報音 「ウーウービッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	ＣＯ注意報（遅延後※2）	11, 12
●	●	○		ＣＯ警報	
●	◎	◎	なし	ガス注意報と ＣＯ注意報（遅延中※1）	8
●	◎	◎	ＣＯ警報音 「ウーウービッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	ＣＯ注意報（遅延後※2）と ガス注意報	11, 12
●	●	◎		ＣＯ警報と ガス注意報	
●	◎	●	ガス警報音 「ウーウービッピッピッピッ ガスがもれていませんか」	ガス警報と ＣＯ注意報（遅延中※1）	9, 10
●	◎	●	ガス警報音 「ウーウービッピッピッピッ ガスがもれていませんか」	ガス警報と ＣＯ警報（遅延後※2）	13, 14
●	●	●	ＣＯ警報音 「ウーウービッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	ガス警報と ＣＯ警報	

●：点灯 ◎：点滅 ○：消灯

ランプ			音声	表現している事象	対応方法
緑	黄	赤			
◎	○	○	なし	電源投入（停電からの復帰を含む） から60秒以内 内部電気回路チェック中	－
瞬時消灯 10回/20秒	○	○		ＣＯガス点検お知らせ機能※3で、 点検ガスを吹きかけるタイミング であることをお知らせします。	－
高速点滅	○	○	故障警報音※4 「故障です 販売店に 連絡してください」	警報器が自己診断機能で故障と判 断した場合に警報する。	販売店に 連絡して ください

◎：点滅 ○：消灯

※1：ＣＯ注意報成立から約5分以内で、ＣＯ検出時の音声警報は発報しません（遅延中）。
※2：ＣＯ注意報成立から約5分間継続した状態で、ＣＯ検出時の音声警報を発報します。
※3：電源投入60秒経過後、約3分間動作します。動作終了後緑ランプは点灯に変わります。
※4：故障警報の場合、故障が原因で音声が出ない場合があります。
（注）上記以外の表示・音声があれば、故障の場合があります。この場合は、販売店またはお取り扱いの
ガス会社に連絡してください。

＜緑ランプの動作＞

